

「知覧地域散策（地域貢献は地域を知ることから）」

1 学校名

鹿児島県立薩南工業高等学校

2 学年・人数

薩南水車からくり同好会員 6名

3 日時・場所

(1) 学習会等の日時・場所

知覧地域散策 平成28年7月26日（火）

ホテル館→知覧城跡→特攻平和会館→ミュージアム知覧

発表の日時・場所

発表行わず、地域散策パネルを製作し文化祭等で活動を展示

4 活用に取り組んでいる史跡の名称・時代・特徴について

(1) 名称・時代

- ・ ホテル館（ほたるかん）昭和4年開業し、昭和17年帝国陸軍の指定食堂となる。
- ・ 知覧城跡（ちらんじょうあと）知覧城は島津氏庶流の佐多氏の拠点として、中世後期に築かれた。

(2) 特徴

- ・ ホテル館（ほたるかん：特攻の母と呼ばれた鳥浜トメ資料館）は特攻の母と慕われた「鳥浜トメ」の食堂で富屋食堂と呼ばれた。昭和4年開業し、帝国陸軍の指定食堂となり、特攻隊員がたくさん訪れている。トメは隊員さんたちを我が子のようにかわいがり、家財を投げ打ってもてなしをした。いつしか、トメのことを「おかあさん」と呼ぶようになり、関係が深かった分、トメは悲しい現実をたくさん目のあたりにすることになる。
- ・ 知覧城跡（ちらんじょうあと）知覧城は島津氏庶流の佐多氏の拠点として、中世後期に築かれた天陰の城で、南九州を代表する中世山城です。佐多氏は近世にも引き続き知覧の領主となっており、近世知覧麓の前身の城として歴史的にも重要である。
- ・ 特攻平和会館とミュージアム知覧は省略します。

5 保存会や地域との連携の具体

・平成27年度に創部された薩南水車からくり同好会の活動の一環として地域知覧を知るために行った。参加者全員が3年生であり、動きやすい夏休みを設定し行った。ホテル館では館主の説明もあり、当時の特攻隊員の辛い想いを語っていただいた。次の知覧城跡とミュージアム知覧については、市の文化財課学芸員である上田耕さまより現地で説明を頂いた。

6 活用の取組の工夫した点

・学校では様々な形で地域貢献活動を行っているが、まずは地域をしっかりと知ることからスタートと考え小人数ながらも実施した。そして活動写真パネルとして展示・啓発していく。

7 取組の様子（研究発表，創作劇等）



ホテル館玄関



知覧城跡への坂道



ホテル館（特攻隊員について）



ミュージアム知覧（金山水車について）



知覧城跡

8 参加児童生徒・保護者・保存会・教職員等の感想・意見

平成28年度 生徒1点

地域を知る活動

薩南工業高等学校 情報技術科3年 下野裕和

知覧にある豊玉姫神社には水車を動力源とした人形劇があり、それは知覧の夏の風物詩となっている。高校で2年間半野球部として活動し、引退後は、幼い頃から見ていた水車からくり人形劇が一体どのような仕組みになっているのか知りたいという好奇心から「薩南水車からくり同好会」に入部した。

入部後私が最初に参加したのは7月にあった地域散策だった。自分達が暮らしている知覧について知ろうという事で、ホテル館・知覧城跡・特攻平和会館・ミュージアム知覧で、戦争の事や特攻隊員達の本当の真実、昔の知覧の事について詳しく話を聞く事ができた。

8月には本格的なからくり人形製作を行った。「回転しておじぎをする人形」というとてもシンプルな動きのものだ。シンプルだが細かな作業が多く、正確に且つしっかり作業する必要があるとても大変だった。知覧水車からくり保存会の3名の先生方からご指導いただき無事に人形を完成させることができた。しかし、まだシンプルな人形しか製作できていない。シンプルなものだけでなく複雑な動きをする人形も製作してみたいと思った。

小さい頃はただ見ていただけの水車からくりを、高校生になり自分の手で作っている。あの頃はまさか自分が水車からくりを作るなんて思ってもいなかった。

薩南水車からくり同好会に入部し水車の事以外にも多くの事を学ぶ事ができた。これから先どんな事を学び、どんな水車を作るのかとても楽しみだ。